

平成 19 年 10 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 19 年 9 月 14 日

上 場 会 社 名	株式会社フジ・コーポレーション	上場取引所	JASDAQ 証券取引所
コ ー ド 番 号	7605	U R L	http://www.fujicorporation.com
代 表 者	役職名 代表取締役社長	氏名	遠 藤 文 樹
問合せ先責任者	役職名 常務取締役本社営業部部長	氏名	多 賀 睦 実
		TEL	(022) 348 - 3300

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容) 税金費用の算出: 四半期では正確な税金費用の計算は困難なため、四半期損益計算書の税引前第 3 四半期純利益に年間予測税率を乗じた税金費用を未払法人税等として計上しております。

(2) 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(3) 公認会計士又は監査法人による関与の状況 : 無

2. 平成 19 年 10 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 11 月 1 日 ～ 平成 19 年 7 月 31 日）

(1) 経営成績の進捗情報

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 10 月期第 3 四半期	9,134	(15.7)	609	(23.1)	606	(21.1)
18 年 10 月期第 3 四半期	7,896	(6.0)	495	(23.9)	500	(38.6)
(参考) 18 年 10 月期	10,015	(7.6)	451	(26.8)	459	(49.3)

	四半期（当期）純利益		1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
19 年 10 月期第 3 四半期	219	(0.8)	46	58	—	—
18 年 10 月期第 3 四半期	217	(7.3)	46	20	—	—
(参考) 18 年 10 月期	167	(8.2)	35	70	—	—

(注) ①期中平均株式数 19 年 10 月期第 3 四半期 4,702,083 株 18 年 10 月期第 3 四半期 4,702,115 株
18 年 10 月期 4,702,099 株

②売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示します。

③記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期における我が国の経済は、依然、企業部門は好調を維持し設備投資の増加も続いておりますが、個人消費については、年金問題や消費税率の引上論争、原油価格の高止まりなど不安定な内外経済の影響もあり、未だ回復に期待できない状況であります。

この様な経済状況のもと、当社においては、夏季商材及びプライベートブランドの販売が好調に推移して、増収を達成できております。

この結果、第 3 四半期の売上高は 9,134 百万円となりました。商品別に見ますと、タイヤ 4,197 百万円（売上本数 320 千本、売上構成比 46.0%）、ホイール 3,982 百万円（売上本数 227 千本、売上構成比 43.6%）、その他 954 百万円（売上構成比 10.4%）となっております。

また、営業利益は 609 百万円、経常利益は 606 百万円となり、役員退職慰労引当金 193 百万円を特別損失に計上したことで、第 3 四半期純利益は 219 百万円となり、増収増益となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年10月期第3四半期	6,930	2,785	40.2	592 34
18年10月期第3四半期	5,994	2,653	44.3	564 26
(参考) 18年10月期	6,277	2,603	41.5	553 76

- (注) ①期末発行済株式数 19年10月期第3四半期 4,702,083株 18年10月期第3四半期 4,702,083株
18年10月期 4,702,083株
②期末自己株式数 19年10月期第3四半期 137,917株 18年10月期第3四半期 137,917株
18年10月期 137,917株
③記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年10月期第3四半期	745	25	△50	1,046
18年10月期第3四半期	480	△209	△176	367
(参考) 18年10月期	107	△278	226	327

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

①財政状態の変動状況

当第3四半期末までに、遊休資産の売却及び運転資金の借入等により、現金及び預金が720百万円増加するなど、資産は653百万円増加の6,930百万円となりました。また、負債は472百万円増加の4,145百万円、純資産は181百万円増加の2,785百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における「現金及び現金同等物」は719百万円増加の1,046百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、745百万円の獲得となりました。

これは主に、税引前第3四半期純利益393百万円、役員退職慰労引当金の計上額193百万円、売上債権の減少額122百万円、仕入債務の増加額229百万円、法人税等の支払額252百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フローの状況)

投資活動によるキャッシュ・フローは、25百万円の獲得となりました。

これは主に、遊休となっていた投資不動産の売却額68百万円、店舗及びホームページのリニューアル等による固定資産の取得に係る支出38百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フローの状況)

財務活動によるキャッシュ・フローは、50百万円の使用となりました。

これは主に、短期借入金の増加200百万円、長期借入金の返済による支出214百万円、配当金の支払額36百万円などによるものであります。

3. 配当の状況

	1株当たり配当金				
基準日	第1四半期末	中間期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
18年10月期(実績)	—	—	—	8 00	8 00
19年10月期(実績)	—	—			
19年10月期(予想)			—	12 00	

4. 平成19年10月期の業績予想(平成18年11月1日～平成19年10月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	11,400	640	240	51 00

[業績予想に関する定性的情報等]

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(要約) 四半期貸借対照表

(単位: 千円、%)

科 目	期 別	当四半期 (平成 19 年 10 月期 第 3 四半期末)	前年同四半期 (平成 18 年 10 月期 第 3 四半期末)	増減		(参考) 平成 18 年 10 月期
		金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資 産 の 部)						
Ⅰ 流 動 資 産						
1	現 金 及 び 預 金	1,049,698	369,638	680,060	184.0	329,315
2	売 掛 金	258,255	234,200	24,055	10.3	362,251
3	た な 卸 資 産	2,144,871	1,864,689	280,181	15.0	2,005,497
4	繰 延 税 金 資 産	28,585	26,363	2,222	8.4	22,013
5	そ の 他	130,546	79,535	51,011	64.1	117,098
	貸 倒 引 当 金	△100	—	△100	100.0	△375
	流 動 資 産 合 計	3,611,857	2,574,426	1,037,430	40.3	2,835,801
Ⅱ 固 定 資 産						
1	有 形 固 定 資 産					
(1)	建 物	972,206	930,091	42,115	4.5	961,512
(2)	建 物 附 属 設 備	464,701	454,172	10,528	2.3	460,233
(3)	土 地	1,499,448	1,579,298	△79,849	△5.1	1,499,448
(4)	そ の 他	435,176	499,445	△64,268	△12.9	468,090
	減 価 償 却 累 計 額	△915,902	△913,936	△1,965	0.2	△889,409
	減 損 損 失 累 計 額	—	△15,469	15,469	△100.0	—
	有 形 固 定 資 産 合 計	2,455,631	2,533,601	△77,969	△3.1	2,499,875
2	無 形 固 定 資 産	63,505	60,540	2,965	4.9	60,174
3	投 資 そ の 他 の 資 産					
(1)	破 産 更 生 債 権 等	916	—	916	100.0	916
(2)	長 期 前 払 費 用	474,858	527,855	△52,997	△10.0	514,196
(3)	繰 延 税 金 資 産	76,875	41,497	35,377	85.3	42,917
(4)	投 資 不 動 産	—	—	—	—	124,849
	減 価 償 却 累 計 額	—	—	—	—	△29,530
	減 損 損 失 累 計 額	—	—	—	—	△15,469
(5)	保 証 金	60,960	74,670	△13,710	△18.4	60,670
(6)	そ の 他	187,117	181,600	5,517	3.0	183,682
	貸 倒 引 当 金	△916	—	△916	△100.0	△916
	投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	799,811	825,623	△25,812	△3.1	881,315
	固 定 資 産 合 計	3,318,948	3,419,764	△100,816	△2.9	3,441,364
	資 産 合 計	6,930,805	5,994,191	936,613	15.6	6,277,166

科 目	期 別	当四半期 (平成 19 年 10 月期 第 3 四半期末)	前年同四半期 (平成 18 年 10 月期 第 3 四半期末)	増減		(参考) 平成 18 年 10 月期
		金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負 債 の 部)						
Ⅰ 流 動 負 債						
1	買 掛 金	721,548	571,081	150,466	26.3	457,885
2	短 期 借 入 金	1,500,000	800,000	700,000	87.5	1,300,000
3	一年以内返済予定長期借入金	285,714	310,714	△25,000	△8.0	285,714
4	未 払 法 人 税 等	106,193	146,877	△40,684	△27.7	136,500
5	賞 与 引 当 金	9,140	7,330	1,810	24.7	23,700
6	株 主 優 待 引 当 金	2,755	—	2,755	100.0	—
7	そ の 他	278,062	176,872	101,190	57.2	211,461
流 動 負 債 合 計		2,903,413	2,012,875	890,538	44.2	2,415,260
Ⅱ 固 定 負 債						
1	長 期 借 入 金	1,032,142	1,317,857	△285,714	△21.7	1,246,428
2	退 職 給 付 引 当 金	16,205	10,275	5,929	57.7	11,648
3	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	193,800	—	193,800	100.0	—
固 定 負 債 合 計		1,242,148	1,328,132	△85,984	△6.5	1,258,076
負 債 合 計		4,145,561	3,341,008	804,553	24.1	3,673,337
(純 資 産 の 部)						
Ⅰ 株 主 資 本						
1	資 本 金	531,400	531,400	—	—	531,400
2	資 本 剰 余 金					
(1)	資 本 準 備 金	568,000	568,000	—	—	568,000
資 本 剰 余 金 合 計		568,000	568,000	—	—	568,000
3	利 益 剰 余 金					
(1)	利 益 準 備 金	6,570	6,570	—	—	6,570
(2)	任 意 積 立 金	1,310,393	1,311,737	△1,344	△0.1	1,310,791
(3)	繰 越 利 益 剰 余 金	401,040	267,636	133,404	49.8	219,226
利 益 剰 余 金 合 計		1,718,004	1,585,944	132,059	8.3	1,536,589
4	自 己 株 式	△32,160	△32,160	—	—	△32,160
株 主 資 本 合 計		2,785,243	2,653,183	132,059	5.0	2,603,828
純 資 産 合 計		2,785,243	2,653,183	132,059	5.0	2,603,828
負 債 ・ 純 資 産 合 計		6,930,805	5,994,191	936,613	15.6	6,277,166

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(要約) 四半期損益計算書

(単位：千円、%)

期 別 科 目	当四半期 (平成19年10月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年10月期 第3四半期)	増減		(参考) 平成18年10月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	9,134,316	7,896,814	1,237,501	15.7	10,015,098
II 売上原価	6,687,863	5,755,888	931,975	16.2	7,366,010
売上総利益	2,446,452	2,140,926	305,526	14.3	2,649,088
III 販売費及び一般管理費	1,836,642	1,645,563	191,079	11.6	2,197,410
営業利益	609,809	495,362	114,446	23.1	451,677
IV 営業外収益	33,899	38,909	△5,010	△12.9	52,488
V 営業外費用	37,252	33,646	3,606	10.7	44,943
経常利益	606,455	500,626	105,829	21.1	459,222
VI 特別利益	274	—	274	100.0	—
VII 特別損失	212,787	117,506	95,280	81.1	136,749
税引前第3四半期(当期)純利益	393,943	383,119	10,823	2.8	322,472
法人税・住民税及び事業税	215,441	219,849	△4,408	△2.0	205,628
法人税等調整額	△40,530	△53,959	13,428	△24.9	△51,028
第3四半期(当期)純利益	219,032	217,228	1,803	0.8	167,872

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(要約) 四半期株主資本等変動計算書

(単位：千円)

当四半期(平成18年11月1日～平成19年7月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年10月31日残高	531,400	568,000	1,536,589	△32,160	2,603,828
当四半期中の変動額					
剰余金の配当			△37,616		△37,616
第3四半期純利益			219,032		219,032
当四半期中の変動額合計	—	—	181,415	—	181,415
平成19年7月31日残高	531,400	568,000	1,718,004	△32,160	2,785,243

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

前年同四半期(平成17年11月1日～平成18年7月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成17年10月31日残高	531,400	568,000	1,406,336	△32,006	2,473,729
当四半期中の変動額					
剰余金の配当			△37,619		△37,619
第3四半期純利益			217,228		217,228
自己株式の取得				△154	△154
当四半期中の変動額合計	—	—	179,608	△154	179,454
平成18年7月31日残高	531,400	568,000	1,585,944	△32,160	2,653,183

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(参考) 平成18年10月期(平成17年11月1日～平成18年10月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成17年10月31日残高	531,400	568,000	1,406,336	△32,006	2,473,729
事業年度中の変動額					
剰余金の配当			△37,619		△37,619
当期純利益			167,872		167,872
自己株式の取得				△154	△154
事業年度中の変動額合計	—	—	130,253	△154	130,098
平成18年10月31日残高	531,400	568,000	1,536,589	△32,160	2,603,828

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

項 目	期 別	当四半期 (平成19年10月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年10月期 第3四半期)	(参考) 平成18年10月期
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1 税引前第3四半期(当期)純利益		393,943	383,119	322,472
2 減価償却費		72,853	68,634	93,859
3 減損損失		—	113,873	113,873
4 店舗移転損失		—	—	14,000
5 賞与引当金の増加(△減少)額		△14,560	△12,530	3,840
6 株主優待引当金の増加額		2,755	—	—
7 退職給付引当金の増加額		4,556	1,951	3,324
8 役員退職慰労引当金の増加額		193,800	—	—
9 貸倒引当金の増加(△減少)額		△274	—	1,292
10 長期前払費用の減少額		39,338	41,577	55,236
11 受取利息及び受取配当金		△1,276	△821	△1,166
12 支払利息		34,559	29,217	39,731
13 有形固定資産売却損		—	199	199
14 有形固定資産除却損		3,880	1,977	7,100
15 無形固定資産除却損		—	1,457	1,457
16 投資不動産売却損		11,467	—	—
17 投資不動産除却損		3,640	—	—
18 売上債権の減少(△増加)額		122,412	73,790	△43,248
19 たな卸資産の増加額		△139,373	△229,701	△370,508
20 仕入債務の増加額		229,515	232,125	129,111
21 未払消費税等の増加(△減少)額		54,648	△30,075	△47,663
22 その他		19,003	24,798	11,844
	小計	1,030,889	699,592	334,754
23 利息及び配当金の受取額		1,276	833	1,177
24 利息の支払額		△34,847	△30,350	△42,076
25 法人税等の支払額		△252,091	△189,445	△186,805
営業活動によるキャッシュ・フロー		745,227	480,629	107,050

項 目	期 別	当四半期 (平成19年10月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年10月期 第3四半期)	(参考) 平成18年10月期
		金 額	金 額	金 額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1 定期預金等の純増額		△940	△386	△22
2 有形固定資産の取得による支出		△24,946	△121,246	△188,488
3 有形固定資産の売却による収入		—	100	100
4 無形固定資産の取得による支出		△13,516	△46,202	△46,826
5 投資不動産の売却による収入		68,382	—	—
6 建設協力金の支払額		—	△25,000	△25,000
7 貸付による支出		△1,000	—	—
8 貸付金の回収による収入額		1,684	828	1,078
9 保証金の支払額		△290	—	—
10 その他		△4,197	△17,439	△19,773
投資活動によるキャッシュ・フロー		25,175	△209,345	△278,933
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1 短期借入金の純増額		200,000	150,000	650,000
2 長期借入金の返済による支出		△214,285	△289,285	△385,714
3 自己株式の取得による支出		—	△154	△154
4 配当金の支払額		△36,675	△37,079	△37,442
財務活動によるキャッシュ・フロー		△50,961	△176,519	226,688
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		—	—	—
V 現金及び現金同等物の増減額		719,441	94,764	54,805
VI 現金及び現金同等物の期首残高		327,070	272,264	272,264
VII 現金及び現金同等物の期末残高		1,046,511	367,028	327,070

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項

期 別 項 目	当四半期 (平成19年10月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年10月期 第1四半期)	(参考) 平成18年10月期
1 たな卸資産の評価基準及び 評価方法	(1) 商品 移動平均法による原価法を採用 しております。	(1) 商品 同左	(1) 商品 同左
2 固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。 ただし、平成10年4月1日以降 平成19年3月31日以前に取得 した建物(建物附属設備を除く) については旧定額法。また、平 成10年3月31日以前に取得し た建物及び平成19年3月31日 以前に取得した建物以外の有形 固定資産については旧定率法。 なお、主な耐用年数は以下のと おりであります。 建物 31年～34年 建物附属設備 8年～18年 構築物 10年～40年 (2) 無形固定資産 定額法を採用しております。 なお、自社利用のソフトウェア については、社内における利用 可能期間(5年)に基づく定額法 を採用しております。 (3) 投資不動産 —	(1) 有形固定資産 同左 (2) 無形固定資産 同左 (3) 投資不動産 —	(1) 有形固定資産 同左 (2) 無形固定資産 同左 (3) 投資不動産 定率法を採用しております。 主な耐用年数は以下のとおりで あります。 建物 34年 建物附属設備 15年 構築物 10年 なお、当事業年度末において、 全額償却済みであります。

期 別 項 目	当四半期 (平成19年10月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年10月期 第1四半期)	(参考) 平成18年10月期
3 引当金の計上基準	(1) 貸倒引当金 債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。 (2) 賞与引当金 従業員の賞与の支払いに備えて、賞与見込額に基づき計上しております。 (3) 株主優待引当金 将来の株主優待券の利用による費用の発生に備えるため、当四半期会計期間末における未利用残高を計上しております。 (追加情報) 従来、株主優待券はその利用時に費用計上しておりましたが、株主数及び利用実績が増加したことに伴い、当四半期会計期間末に発行した株主優待券から、その未利用残高を株主優待引当金として計上しております。 これによる当四半期会計期間の損益に与える影響は軽微であります。 (4) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当四半期会計期間末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。 (5) 役員退職慰労引当金 役員への退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づき、当四半期会計期間末における要支給額を計上しております。	(1) 貸倒引当金 同左 (2) 賞与引当金 同左 (3) 株主優待引当金 — (4) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当四半期会計期間末に発生していると認められる額を計上しております。 なお、当四半期会計期間期首において、前事業年度末までの計算期間をもって税制適格退職年金制度を全部解約し終了しております。 (5) 役員退職慰労引当金 —	(1) 貸倒引当金 同左 (2) 賞与引当金 同左 (3) 株主優待引当金 — (4) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。 なお、当事業年度期首において、前事業年度末までの計算期間をもって税制適格退職年金制度を全部解約し終了しております。 (5) 役員退職慰労引当金 —

期 別 項 目	当四半期 (平成19年10月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年10月期 第1四半期)	(参考) 平成18年10月期
4 リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転するものと認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。	同左	同左
5 ヘッジ会計の処理方法	(1) ヘッジ会計の方法 為替予約については、振当処理の要件を満たしているため振当処理を採用しております。 (2) ヘッジ手段 為替予約 (3) ヘッジ対象 外貨建予定取引 (4) ヘッジ方針 当社は、為替や金利変動リスクに晒されている資産・負債に係るリスクをヘッジする目的にのみデリバティブ取引を行うものとしております。 (5) ヘッジ有効性評価の方法 ヘッジ手段の残高とヘッジ対象である現在所有もしくは将来取得が確実に予定されている取引の外貨建債務の残高の対応関係について、管理部において把握し、管理しております。	—	(1) ヘッジ会計の方法 為替予約については、振当処理の要件を満たしているため振当処理を採用しております。 (2) ヘッジ手段 為替予約 (3) ヘッジ対象 外貨建予定取引 (4) ヘッジ方針 当社は、為替や金利変動リスクに晒されている資産・負債に係るリスクをヘッジする目的にのみデリバティブ取引を行うものとしております。 (5) ヘッジ有効性評価の方法 ヘッジ手段の残高とヘッジ対象である現在所有もしくは将来取得が確実に予定されている取引の外貨建債務の残高の対応関係について、管理部において把握し、管理しております。
6 キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲	キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。	同左	同左
7 その他財務諸表作成のための重要な事項	(1) 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。	(1) 消費税等の会計処理 同左	(1) 消費税等の会計処理 同左

販売の状況

(商品別売上高)

(単位：千円)

期 別 科 目	当四半期 (平成19年10月期 第3四半期)		前年同四半期 (平成18年10月期 第3四半期)		(参考) 平成18年10月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
タ イ ヤ	4,197,755	46.0	3,754,849	47.5	4,620,302	46.1
ホ イ ー ル	3,982,320	43.6	3,361,276	42.6	4,384,228	43.8
用 品	377,668	4.1	325,613	4.1	431,540	4.3
作 業 料	576,571	6.3	455,075	5.8	579,027	5.8
合 計	9,134,316	100.0	7,896,814	100.0	10,015,098	100.0

(注) 当社の製品は多岐にわたっており、数量表示は困難でありますので、金額のみで表示しております。

(店舗別売上高)

(単位：千円)

期 別 店 舗		当四半期 (平成19年10月期 第3四半期)		前年同四半期 (平成18年10月期 第3四半期)		(参考) 平成18年10月期	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
	(開閉店年月)		%		%		%
盛岡店		316,409	3.4	276,103	3.5	345,469	3.4
仙台店		346,286	3.8	341,598	4.3	425,214	4.2
郡山店		316,473	3.4	295,911	3.8	356,135	3.6
宇都宮店		407,692	4.4	516,277	6.5	601,067	6.0
茨城店		254,538	2.8	237,893	3.0	297,786	3.0
大宮店		439,013	4.8	406,799	5.2	521,654	5.2
新潟店		394,767	4.3	368,385	4.7	438,184	4.4
相模原店		336,046	3.7	306,088	3.9	389,776	3.9
高崎店		391,966	4.3	371,769	4.7	446,278	4.5
長野店		289,302	3.2	258,977	3.3	311,447	3.1
札幌店		291,148	3.2	279,117	3.5	361,676	3.6
青梅店		326,504	3.6	301,658	3.8	373,206	3.7
江戸川店		175,734	1.9	160,476	2.0	210,021	2.1
名取店		126,788	1.4	110,113	1.4	130,718	1.3
富谷店		105,048	1.2	93,705	1.2	113,178	1.1
札幌西店		110,285	1.2	103,447	1.3	132,982	1.3
札幌東店		124,194	1.4	120,038	1.5	148,110	1.5
川越店		168,798	1.8	166,692	2.1	204,349	2.0
横浜店		529,335	5.8	450,637	5.7	580,292	5.8
大阪箕面店		352,113	3.9	305,251	3.9	395,940	4.0
千葉穴川店		260,992	2.9	255,533	3.2	322,272	3.2
山形店	平成18年3月開店	131,452	1.4	50,684	0.6	76,092	0.8
宇都宮東店	平成18年4月開店	179,721	2.0	62,056	0.8	96,467	1.0
本社営業部		2,759,700	30.2	2,057,593	26.1	2,736,772	27.3
合 計		9,134,316	100.0	7,896,814	100.0	10,015,098	100.0

(注) 本社営業部は、一般顧客を対象とした通信販売及び卸売を行っております。